

常新新聞

定部金貳圓 廣告五號十二行 印刷費五圓 零售每份五分

日刊 印刷 川崎文治

本社同地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

三月八日夕刊

我等は岐路に立つ現代の青年學生に對して、茲に一言禁じ得ざるものある。諸子並に世の父兄が今日の學校教育を過信し過重し之を卒業して世間に出づれば、必ず學校卒業の故を以て直ちに就職し又は生活し得べしと信するは大なる誤解にてさる迷信時代は既に過去に屬して居る。殊に思想、主義學說といふ如き智識方面の

空漠なることのみに重きを置いてはならぬ。寧ろ其の智識を實地に發現する手段方法、即ち一藝一能に秀逸するに努め自己の特色とする所を磨き依て以て社會に順應するに努力することである。換言すれば一定の年日をして規定の課程試験に及第して學校を卒業しといふ一事は最早看板とする價値がない。却て筆算に巧みなることタイプライターを能くすること、文章の上手なること、製圖に秀ぶること運動競技に拔んぶる如き從來未だとせる種類の熟練に努むれば必ず何れにか順應し得るものである。兎に

角智識よりも技術に關する方面に於て自信ある修養を積むことである。藝は身を助く、今日の如き偏智識教育、無内容教育は如何に之を受くるとも實際の社會は漸次之を要求せぬ事情にあることを知らねばならぬ。即ち頭のみ進みて手足動かさず、言論のみにて行動の伴はざる形式的貴族的的教育は受けざるが却て幸福である

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 看護婦會 電話三〇七番

御料理仕出し

うどん そば 天ぷら 鰻蒲焼

ままづ屋

蓄音器 貴金屬

會田時計店

平町四(電話三三三三)

肉聲其まゝの高級ビクターレコード一枚、50錢

日本物と音楽蓄音器針はビクター針先 55錢 一度御試聴下さい

のどかな春!

旅行に! 散策に! 皆さん御待ち兼ねの.....

春の中折 鳥打帽子 子供さんの帽子

本月のウエンドウは春帽を陳列致しましたから御批評下さい

にツルヤ

電話百四十番

彼も彼女も さうして私も 萬人が萬人.....

うまいものは「うまい」と申します

シニークリーム一ツ五錢

平町南町(舊診療所)電話一七〇番

大和田醫院

目丁四町平 ヤトモツマ 番四一二話電

新築移轉

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所)電話一七〇番

大和田醫院

目丁四町平 ヤトモツマ 番四一二話電

理想的耐水耐熱接合劑

キングパスト

◎水が微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑 一名コナニカワ

◎四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的

◎理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

小野屋藥店

電話一四四番

瓶詰販賣滿一週年紀念

特撰賣出し

壹升瓶詰 一本 壹圓四拾錢 (空瓶交換レツテル付)

壹斗樽詰 一本 拾貳圓 (樽又キ)

(但從來の瓶詰價格並に空瓶交換の方法は從前の通り)

平町四丁目(平驛前通り)

永山酒造店 總發賣元

電話二〇七番

町平町 吉田眼科醫院

御大典記念事業トシテ

一、衛生試驗所 (共濟病院内) 十一月一日ヨリ開始

一、病氣相談所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始

一、救療所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始

◎入院自炊ノ便アリ

◎看護婦見習募集

城盤 共濟病院 平町(電話六四一番)

獨逸シームス、ユニバーサル、ヘリオドル

×光線新設

主任 醫學博士 難波 睦

內科 小兒科 (院長毎日診療)

院長 醫學博士 難波 睦

副院長 醫學士 五十嵐雄二

內科部長 中西林 藏

外科部長 整形外科 中野 謙

外科部長 醫學士 鈴木 憲介

產婦人科 女子泌尿科 レントゲン科

產婦人科部長 五十嵐雄二

顧問 醫學博士 川添 正道

◎共濟會員診察無料 ◎一般患者初診壹圓

本院醫事 法學士 岡 蕃

本院囑託 主事 賀澤 忠治

本院 醫學士 賀澤 忠治

本院 醫學士 賀澤 忠治

本院 醫學士 賀澤 忠治

本院 醫學士 賀澤 忠治

永山酒造店 總發賣元

電話二〇七番

巖谷小波先生 揮毫併書を頌つ

此際至急申込まれたし
巖谷小波先生濱通り行脚の途次十一日に
來平すべき豫定の爲め有志の薦めに依り
本社と同先生の併書揮毫會を催す、潤筆
料は左記の如くであるから此好機を逸せ
ず至急申込まれたし

- 一、句のみ 本 七圓
 - 一、畫 贊 本 五圓
 - 一、畫 贊 本 十五圓
- (申込所) 長橋町 常警毎日新聞社

平驛の改築工事

明後日着手

昨日丸山組に落札し 六月末に竣工

平驛の改築工事に關し昨日
午後一時より東京鐵道局に
て平町合資會社丸山組、堀
江工業會社、前澤文太郎の
諸氏外東京、水戸、各一名
宛に指名入札あつたが其結
果丸山組に對し四萬七千八
百圓を以て落札した爲め
愈も明後日から工事に着手
する事になつた因に工事期
間は百十日との事であるか
ら六月末日には平町の太玄
關として異彩を放つ二階建
の大建造物が竣工する譯で
ある

鏡の裏から 紛失の九十圓 女中の出來心

石城郡植田町佐藤澁川礦泉
主森山熊郎が五日夜八時半
頃入浴中脱衣の袂に入れた
現金九十一圓入財布が竊取
されたのを程経て發見を騒
ぎとなり植田署に届出の
に檢擧された

にせ記者が
二千圓をへん取
安積郡三和村生れ目下住所

で翌朝蛭田刑事が調査の結
果盗まれた筈の金が浴場の
鏡の裏にあつたのを發見し
た右は同家の女中植田町大
字佐藤府川トシ(三)假名が

未だ宵の口に 白銀の強盜

日本刀を突き付けて 女房を脅迫強奪 犯人就縛せず

七日午後十一時頃平町白銀
町一番地阿部憲次方へ主人
の不在中を見込んで年齢卅
五六才位への土工体の覆面
の強盜押入り妻ツヤ(三)に
對して「日本刀を突き付け」
金を出せ」と脅迫恐れ戦く
ツヤは觀念して靜かに現金
七十五錢を與へた處賊は夫
れを奪ふ様にして何れへか
逃走した此の報に接せる平
署にては猪狩署長陣頭に立
つて直ちに指揮し青田刑事
部長以下各刑事八方に散り
非番巡查を召集し非常線を
張つたが届出が事件發生後
二時間を経過した爲め賊は

濱三郡本炭 等級検査打 合

濱三郡本炭同業組合では平
町元郡衙に十日検査員會を
催し四月一日より施行する
事となつた等級検査の件に
就き種々打合せをなす等

落盤重傷死亡 石城 郡内郷村大字宮字鬼ヶ澤居 住耶麻郡永瀬村生れ大和炭

吐く時は一萬分の四、五以上にもな
るから頭痛やめまひがして
來る、炭酸ガス以上に恐ろ
しいのは一酸化炭素でこれ
が肺に入ると赤血球と結合
して體内のすべての細胞を
破壊する、空気の一萬分の
一あつても中毒病状を起す
から危険である



ガラス窓の 炭酸ガス

普通の大氣中には炭酸ガス
が一萬分の三ほど含まれて
ゐる、吾々が吸つた空気を

礦先山夫秋山竹雄(三)は去
月十六日午前九時頃坑内に
て落盤に遭遇重傷を負へ平
町上田醫師其他で治療中で
あつたが六日死亡平署七海
部長検視したと

山形師範 川崎社長招る

川崎本社長は十日午後一時
より開催される山形師範
學校電話研究會の講師に招
かれ明九日午前九時廿五分
平驛發平郡線にて出發する

平町人事
▲出生
▲大工町一七 丹野玉磨氏長女知加

▲婚姻
▲雙葉郡大野村大字野上 會社員吉
田文雄氏(三五)一丁目五〇 平野
井アサ(二七)

▲死亡
▲田町一 猪狩陣治(四五)

明日の天気
南西の風
晴後曇

心得て置くべきもの 不良少年の誘惑

子供が不良少年の誘惑に罹
つて遂に行動を共にするや
うになるのはいろいろとな
原因が潜んでゐるとしても
それを
種類別 にすると先
づ次ぎのやうな點によるも
のが多い、すなはち第一弱
みにつけ入つて善良なる少
年を不良の仲間に取り入り
込む場合、又は強制的に引
りこむ場合又は交際してゐ
る中に知らず識らず不良に

悪化を 受けるもの

はたとへばちよつと人目に
つく風采態度の青年等に對
して一種の好奇心で交際し
初めるといふやうな事から
感化される場合が多いので
あるが、このうち最後の知
らず識らずの感化が最も困
るのである、之等は保護者
の方でよく注意を要するこ
とであるが、それには嚴に
過ぎず寛に流れすぎないや
うな監督振りを要するのだ
である
(平警察署長猪狩清氏談)

永山酒店勉強 平町

久保町銘酒由良之助醸造元
永山酒店にては四丁目平
驛新通りに小賣部を設けて
から本月を以て滿一ヶ年
に達する爲め一升樽詰一本
一圓四十錢、一斗樽詰一本
十二圓の割引値段を以て
目下報恩的の販賣を行つて
居るが頗る好評である

平町 殘工工事入札 けふ土木協議

平町にては本日午前十時よ
り役場議事堂にて土木委員
會を開き本年度土木事業の
殘工工事入札及び公園修繕等

貸家案内

白銀町	商人向	貳拾五圓
仲間町	商人向	貳拾圓
全全	湯屋	貳拾五圓
全全	商人向	拾圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓
全全	商人向	八圓

加藤營業所
白銀町(電話三三番)